

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備）事後評価書

計画の名称	19. (仮称) 安八スマートIC並びに周辺道路の整備による、活力ある、災害にも強いまちづくり	重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成25年度～平成29年度（5年間）	交付団体	安八町
計画の目標			

本町では町内を通過する名神高速道路を有効活用した、本線直結型の「スマートIC」の整備を計画している。
これにより、慢性的な交通渋滞の緩和、新たな企業の進出による活力あるまちづくりや、また災害時には緊急避難経路としての利用などを図ることを目的とし、道路を整備する。

計画の成果目標（アウトカム指標）	1. 名神高速道路へアクセス時間の短縮 63.6%解消（岐阜羽島 16分→7分（△56.3%） 大垣 20分→7分（△65.0%） AVE △60.7%）		
------------------	---	--	--

アウトカム指標の定義及び算定式	アウトカム指標の現況値及び目標値	備考
	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H26末)
	0%	最終目標値 (H29末) 60.7%
1. 町中心（庁舎）から最寄ICへの時間短縮効果 ※時間計測区は、庁舎から大垣IC、羽島ICまでの走行時間を計測 【（時間短縮率）＝（H24当初の通過時間－評価時点での通過時間）／H24当初の通過時間*100】		
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	0 百万円
A	2,418 百万円	B
C	0 百万円	D
効果促進事業費の割合 C / (A + B + C)		0.0%

事業概要

A 地方道路整備事業																				
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	道路種別	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
												H25	H26	H27	H28	H29				
383-A1	道路	一般	安八町	直接	安八町	市町村道	改築	0.55	南長田坊野1号線ほか	道路拡幅 L=1,975m	安八町						853			
383-A2	道路	一般	安八町	直接	安八町	市町村道	改築	0.55	南長田大淵線ほか	道路改良 L=1,160m	安八町						1,107			
383-A3	道路	一般	安八町	直接	安八町	市町村道	改築	0.55	六反不納場線	道路改良 L=220m	安八町						29			
383-A5	道路	一般	安八町	直接	安八町	市町村道	改築	0.55	本線跨道橋	名神高速道路本線横断橋梁整備 L=34m	安八町						429			
合計																	2,418			

B 関連社会資本整備事業																				
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考	
											H25	H26	H27	H28	H29					
合計																				

C 効果促進事業																				
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考			
											H25	H26	H27	H28	H29					
合計																	0			

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H28	H29	H30	H31	H32		
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			

事業効果の発現状況、目標値の達成状況				
1. 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況	スマートインターチェンジの開通により、慢性的な交通渋滞箇所である揖斐川・長良川渡河部を回避して名神高速道路へのアクセスが可能となり、時間短縮効果が発現された。			
2. 定量的指標の達成状況	指標① 町中心(庁舎)から最寄ICへの時間短縮効果	最終目標値	60.7%	目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値	60.7%	
3. 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路への利便性向上を期待して、町内に16社の新規企業進出があり新規雇用が創出された。 ・本計画で整備した区間から安八SICまでの区間を新たに緊急輸送道路に指定し、有事における高速道路から直接防災拠点施設までの人的物的支援を行うルートを補完することが可能となった。 			
特記事項(今後の方針等)				
・今後も継続的に利用状況調査や交通量調査などを行い、その整備効果が十分に発言されているかを検証する。				